

サンタが家にやって来る！ ファイナル！



12月22日（日）の夕刻、今回で最後となるサンタの出前が行なわれました。

宅配サンタ発案者の梶原泰明さんにこれまでの取り組みなどについて伺いました。



12月22日（日）当日は、開始以来初めての雨の中の出前サンタでした。最後ということもあり予約はいっぱいですが計20軒のお宅を訪問しました。

どのお宅でも大変喜ばれ、やって良かったと思っております。子どもたちは突然のサンタ訪問に驚き、喜びを隠せませんでした。本物のサンタと信じている子も多かったのですが、あまりに小さいお子さんにはサンタの意味が分からず、白いひげのおじさんを怖がり泣き出す子もいました。でも、良い思い出になったと自負しています。



どちらかという子どもたちよりもお父さんお母さんがワクワクしていたのではないかとも思えました。

この出前サンタは、アメリカの西海岸のある市で、1ドルを支払うとサンタが家庭を訪問してくれるというサンタプログラムがあり、その経験からの発案です。アメリカではハロウィンのかぼちゃの細工や仮装、あるいは家の飾りやサンタプログラム、収穫祭のパーティー



などイベントごとに住民が参加して楽しんでおり、地域が活性化されていました。特にクリスマスは子供たちにとって大変うれしいイベントです。



みずき野でもこの宅配サンタを実現したいと考え、妖怪研究所の岡本代表に相談し協力をお願いしました。サンタには岡本さんと松村さんに演じてもらいました。当初は2名のサンタで実施しましたが、やはり1名で訪問の方が本物らしいということで、交代で訪問するようにしました。

初めは就学前の子供対象でしたが、みずき野でも少子化の影響で空きが出るようになりました。そこで小学生まで対象を広げたのですが、あまり変化はありません



でした。一方でサンタを演じて下さる妖怪研究所の方も体力的に潮時かと思い、今年を最後にいたしました。

5年間という短い期間でしたが、みずき野の方々に良い思い出を作れたと自負しております。

私一人では実現できなかったことであり、妖怪研究所が主体となり実施してくれたことに大変感謝しています。



(寄稿 妖怪研究所 梶原泰明)